

# 平成30年度病害虫発生予察情報 注意報第2号

平成30年8月8日  
岩手県病害虫防除所

## リンゴ褐斑病の早期発生が広く見られています。 既発生園や前年多発園では、速やかに特別散布を実施しましょう。

- 1 対象作物、病害虫 : りんご、褐斑病
- 2 対象地域 : 県下全域
- 3 発生時期（加害時期） : -
- 4 発生量 : 多
- 5 予報の根拠

- (1) 8月前半の巡回調査では、発生園地率は過去10年で最も高く、発生程度の高い園地もみられる(図1)。早期発生が確認された園地は、いずれも前年秋期の発生程度が高かった。
- (2) 複数の園地で早期発生(8月前半)がみられた地域では、秋期に広域的な多发要因となる。  
(平成29年度病害虫防除技術情報No. 29-1「リンゴ褐斑病の多发要因の解析と発生予察法の改善」)
- (3) 前年秋期の発生園地率が高かったため、前年多発園を中心に伝染源密度が高いと考えられる。

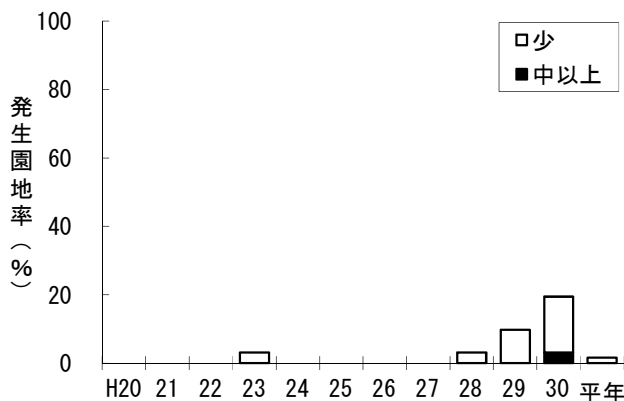


図1 褐斑病の発生園地率の年次推移(8月前半、ふじ)  
※本年の発生園地率には県北の値を含まない(未調査)

図2 褐斑病の病徴  
(黑色虫糞状の粒々が特徴)

### 6 防除対策

- (1) 前年多発園(前年秋期に黄変落葉が目立った園地)で、本年、これまでに本病を対象とした特別散布を実施していない園地では、発生の有無にかかわらず、速やかにトップジンM水和剤またはベンレート水和剤を散布する。
- (2) 前年未発生園や少発生園では、9月下旬まで定期的に園地をよく観察する。黄変葉や褐色の病斑葉がまとまって確認されたら、付近の葉を含めて観察する。本病であれば、病斑や病斑付近の緑色の部分に黒色虫糞状の粒々(分子子層)が必ず観察される(図2)。
- (3) 本病の発生が確認された場合は、速やかにトップジンM水和剤またはベンレート水和剤を特別散布する。

～農薬危害防止運動実施中(6/1～8/31)～  
熱中症防止のため、こまめな水分補給と休憩を心がけましょう!

#### 【利用上の注意】

本資料に掲載した農薬は、平成30年7月31日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネット(<http://i-agri.net/Index>)でもご覧いただけます。